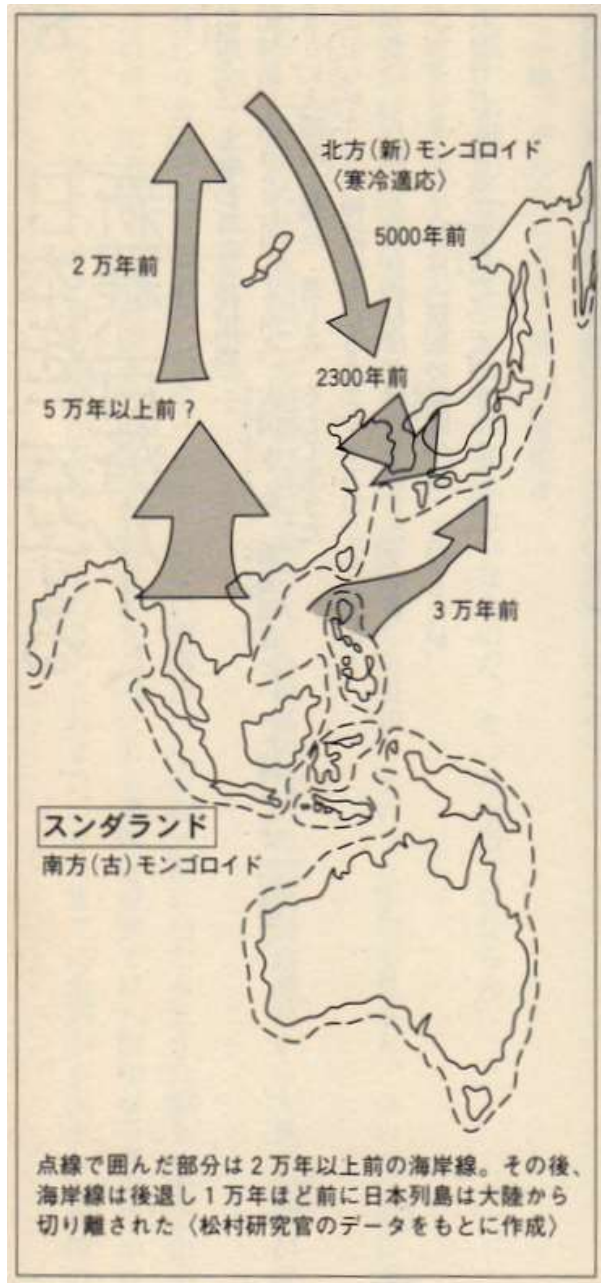


私たちはどこから来たのか？

「二重構造モデル」(埴原和郎)

原日本人は東南アジア系の人々が原型となり、縄文人になった。その後、弥生時代になって北東アジア系の人々が渡来し縄文系の人々と混血して現代の本土に住む日本人を形成した。混血は現在も進行しており、日本人は、渡来した北東アジア系と在来の東南アジア系の二つの集団の二重構造が考えられる。在来系の形質を比較的残しているのが、アイヌと沖縄の人たちである。



あなたの顔は縄文系？弥生系？

項目	縄文系	弥生系
芸能人	渥美 清 吉永小百合 片岡鶴太郎	藤田まこと 岩下志麻 笑福亭鶴瓶
目	二重瞼	一重瞼 蒙古襞
歯	小さくて裏側が平ら	大きくて裏側がシャベル状
耳	分離型（福耳）	密着型
耳垢	湿型	乾型
顔	立体的	平面的
眉毛	濃い	薄い
A T L	（白血病ウイルス）キャリアー	ノンキャリアー
お酒	強い	弱い
頭示数	中頭型（76～81）	短頭型（81以上）

私たちはどこへ行くのか？

- 現代の若者は足が細く、顎がとがってえらの部分がなくなってきていて、歩く、咀嚼をする力が衰えている。骨の形質からいくと寿命が短くなる可能性がある。
- 2013年の出生数は103万、死亡数は127万5,000人、結果、24万5,000人の日本人が消えたこととなる。しかもこの人数は毎年続く数字だから怖い意味を持つ。
- 近代文明は、かつて経験したことのない汚染にさらされた環境を短期間のうちに作り上げてしまった。そのため、文明と生物との不調和という状況を作り出してしまった。
- 人類進化の歴史をたどると、すべての集団は、それが人種であれ民族であれ、独立に起こり、成長してきたものではないことが理解される。日本人という集団も、境界は明確ではなく、相互依存的であり、かつ流動的である。